

守 監 発 第 6 号
令和8年8月14日

守谷市長 松 丸 修 久 様

守谷市監査委員 高 瀬 尚 則

守谷市監査委員 山 本 広 行

令和7年度守谷市各会計決算及び
各基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定により審査に付された、令和7年度における守谷市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに同法第241条第5項の規定により審査に付された各基金の運用状況について審査したので、次のとおり審査意見書を提出する。

令和7年度守谷市各会計決算及び各基金運用状況審査意見書

1 審査の対象

守谷市一般会計歳入歳出決算
守谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
守谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
守谷市介護保険特別会計歳入歳出決算
各基金の運用状況を示す書類

2 審査の期間

令和8年7月13日から令和8年8月14日まで

3 審査の方法

守谷市各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成され、これらの計数の正確性とその会計処理が適正に行われているかを関係書類と照合するとともに、関係職員から説明を聴取し、定期監査、例月現金出納検査等の結果を参考として、収入支出事務の適法性、的確性の確認を行い、予算が適正かつ効率的に執行されたかを審査した。

また、各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性を検証するため、関係帳簿等との照合その他通常実施すべき審査を実施したほか、基金の運用状況の妥当性を検証するため、関係書類を審査した。

4 審査の結果

審査に付された守谷市一般会計歳入歳出決算書、守谷市各特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して調製されており、その計数は、関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、予算の執行に関連する事務の処理は適正かつ効率的に執行されていると認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても関係諸帳簿、証拠書類と符合しており、基金の運用状況は妥当であると認められた。

5 審査の意見（各会計の状況）

【一般会計】

歳入決算額は428億80万3,695円で、前年度と比較して33億6,151万4,360円（8.5%）の増額となった。

歳出決算額は390億3,673万9,188円で、前年度と比較して23億2,317万3,989円（6.3%）の増額となった。

歳入の状況としては、前年度と比較すると、主なものとして、市税、地方交付税、国庫支出金、繰入金、市債が増額となった一方、地方特例交付金が減額となった。

なお、歳入における財源の構成比は、自主財源が 66.4%（前年度：65.9%）、依存財源が 33.6%（前年度：34.1%）という状況である。

歳出の状況としては、前年度と比較すると、主なものとして、総務費、民生費、衛生費、教育費が増額となった一方で、減額となった主なものとして、土木費、消防費、諸支出金が挙げられる。

また、歳出における目的別の構成比で見ると、増加となった主なものは、総務費が前年度 19.18%に対して 19.38%、衛生費が前年度 4.63%に対して 4.76%、教育費が前年度 13.27%に対して 16.21%となっている。増加の主な理由として、総務費ではシステム標準化に伴う経費、民生費では物価高騰対策に伴う支援金の支給や児童手当の制度改正に伴う増、衛生費では一部事務組合へのごみ処理負担金、教育費では大井沢小学校や松ヶ丘小学校における屋内運動場改修事業や中央図書館改修事業が挙げられる。

なお、歳出における翌年度繰越額が 27 億 1,357 万 5,762 円となり、前年比 10 億 3,648 万 6,620 円増加した。人手不足や物価高騰等の課題はあるが、翌年度の財政運営への影響をさけるため、関係者との事前協議の徹底など計画的な予算執行に努められたい。

【国民健康保険特別会計】

歳入決算額は 50 億 7,578 万 8,520 円で、前年度と比較して 2 億 6,387 万 5,505 円（4.9%）の減額となった。

歳入の主なものとして、前年度から、国民健康保険税が 1,303 万 5,126 円（1.2%）の減、県補助金が 2 億 1,989 万 2,850 円（6.1%）の減となったが、基金繰入金が 1 億 9,955 万 4,000 円となっている。ここ数年、基金の取り崩しに大きく依存しており、支払準備基金の残高は直近 3 年間で 6 億 8,750 万 9,042 円減少し、5 億 8,404 万 4,255 円となっている。このままでは基金の枯渇が予想されることから抜本的な対策が必要である。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入決算額は 12 億 311 万 5,603 円で、前年度と比較して 1 億 2,055 万 9,922 円（11.1%）の増額となった。

歳出決算額は 11 億 9,625 万 8,448 円で、前年度と比較して 1 億 1,854 万 9,329 円（11.0%）の増額となった。

令和 8 年 3 月末における被保険者数は 9,629 人（令和 7 年 3 月末：9,111 人）で、人口に占める割合は 13.6%（令和 7 年 3 月末：12.8%）となっている。今後も、被保険者数の増加が予想される。

【介護保険特別会計】

歳入決算額は 43 億 6,448 万 3,576 円で、前年度と比較して 1 億 5,295 万 6,452 円（3.6%）の増額となった。

歳出決算額は 41 億 5,691 万 5,520 円で、前年度と比較して 5,146 万 7,776 円（1.3%）の増額となった。

歳出における保険給付費は 36 億 8,295 万 4,239 円で、歳出総額の 88.6%を占めている（令和 6 年度：35 億 750 万 519 円（歳出総額の 85.4%））。

守谷市の要介護認定率は、各年 4 月 1 日現在、年々微増しているものの、茨城県や全国と比較すると、いずれも低い水準であり、特に県内では 2 番目に低い水準となっている。

【財政分析指標】

財政分析指標については、単年度の財政力指数が 0.934（前年度：0.946）、経常収支比率が 95.4%（前年度：94.8%）、公債費負担比率が 6.9%（前年度：5.5%）となっている。

【基金運用状況】

各種基金については、適正に管理・運用されている。